

令和7年9月12日より
119番通報の住所は

市町村名から お伝えください



今年9月から運用開始

札幌圏 消防指令 センター



消防車や救急車への出動指令、救命に関する口頭指導、出動隊への情報支援などを24時間体制で行います。

消防指令業務 Q & A

Q 共同化によって、消防車や救急車の到着が遅くなることはありませんか？

A いいえ、到着が遅くなることはありません。むしろ、情報の一元化や指令業務の効率化によって、より迅速な出動が可能となることが期待されています。指令を受ける消防署や出動する車両は、共同化前と変わらず、最も早く現場に到着できる隊が出動します。

Q 共同化後も、それぞれの市町村の消防署は残るのですか？

A はい、各市町村の消防署や出張所はこれまで通り存続します。消防指令業務は札幌市に一元化されますが、各地域の消防署は、現場での消防・救急活動、住民への防災指導などを引き続き行います。

Q 共同化に関する最新情報はどこで確認できますか？

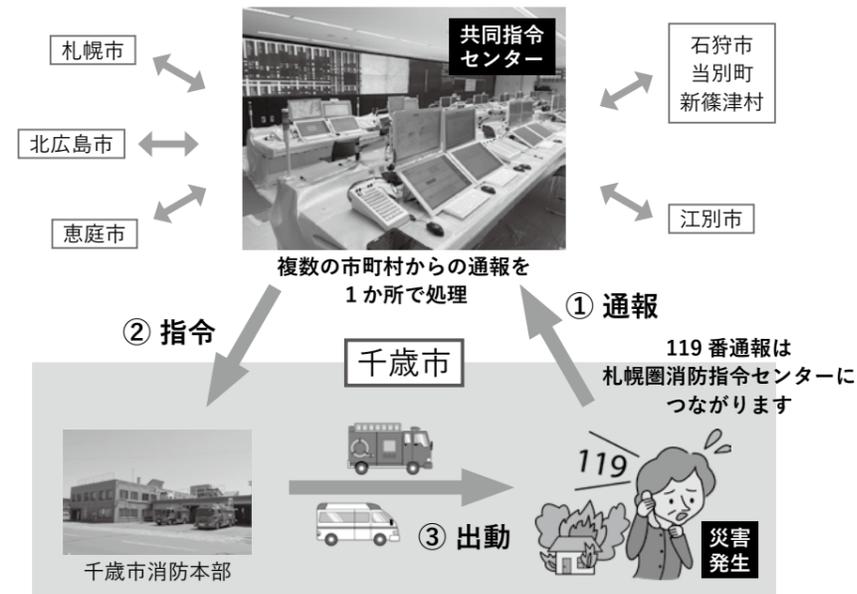
A 市ホームページやソラタヨ MOVIEなどで詳細な情報を公開しています。ご不明な点は、お問い合わせください。

ソラタヨ MOVIE は、二次元コードから



千歳市消防本部 警防課 防災企画係
TEL 23-0320 FAX 22-8850
メール shoboikeibo@city.chitose.lg.jp

札幌圏消防指令センターの119番通報のイメージ図



消防指令業務の共同運用に伴い、令和7年9月より順次千歳市を含む札幌圏の6消防本部(局)の消防指令業務が「札幌圏消防指令センター」に集約、共同運用が開始されます。これに伴い、9月12日以降、市内からの119番通報(NET119などを含む)は札幌市消防局内に新設された同センターにつながるようになります。消防車や救急車の出動は、これまでのとおり千歳市内の消防署から行われるのでご安心ください。

119番通報は
札幌圏消防指令センターへ

119番通報時の
注意点

消防指令業務の 共同運用による 千歳市の メリット

千歳市の消防体制はさらに強化され、市民サービスの向上が期待されます

**迅速で的確な
災害対応の強化**
大規模災害時など、複数の消防本部が連携して対応する必要がある場合でも、情報の一元化により、よりスムーズな相互応援体制が確立されます。

指令業務の 質の向上と効率化

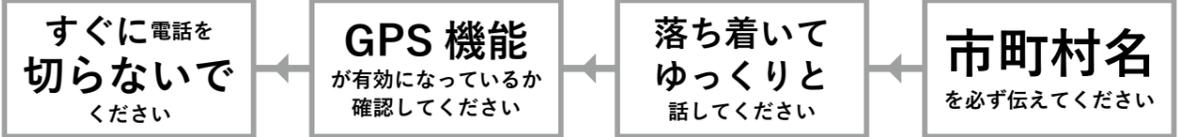
札幌圏全体の災害情報を一元的に管理することで、広域的な視点での消防・救急活動が可能となり、市民サービスの質が向上します。指令業務に携わる職員を効率的に配置できるようになり、現場活動にあたる消防隊や救急隊の強化にもつながります。



映像通報 システムの 導入

119番通報時、指令員の判断で通報者から現場の映像を送ってもらうことができる「映像通報システム」が導入されます。映像を通じて現場の詳しい状況や傷病者の状態を把握できるため、より的確な応急手当の指示や、最適な消防活動に繋がります。詳細は、ソラタヨ MOVIE(左の二次元コード参照)をご覧ください。

携帯電話からの通報の場合



指令員が必要な情報を全て聞き取るまで、電話を切らずにお待ちください。



場所の特定に役立ちます。建物の中など電波状況が悪い場所からの通報は、屋外から出て通報するなど可能な範囲でご協力ください。今いる場所がわからない場合は、周辺の目立つ建物(コンビニ、ビル名など)を教えてください。



落ち着いて
ゆっくりと
話してください

市町村名
を必ず伝えてください

通報時、「千歳市〇〇町～」のように、必ず市町村名から住所を伝えて下さい。これにより、よりスムーズに通報場所を特定することができます。